

# データログ

データログによって装用者であるお客様の使用状況を確認することができます。それは補聴器の使い方や装用効果についてお客様にお話しする場面で有効であり、フォローアップの微調整やトラブルシューティングに役立てることもできます。Inspireの左側ナビゲーションバーから**データログ**にアクセスします。さまざまな環境での補聴器の使用状況が記録された具体的なデータが画面に表示されます。Inspireは、補聴器が接続されると、自動的にデータログを読み込みます。

データログ：  On  Off データログのオン/オフが選択できます。

- デフォルトはオンになっています。データログのオン/オフ切り替えはInspire上でも、Thriveアプリでも行えます。データログをオフにすると、Thriveアプリのブレインスコアをトラッキングする機能は働かなくなります。
- データログがオフの状態、データログがオンで行われたセッションのデータを読み込むと、補聴器のデータログ設定はオンになります。これは、読み込まれたセッションがデータログのオン/オフを決定するためです。
- 「ベストフィット」や「リセット」を行うと、データログはデフォルトのオンになります。
- データログをオフからオンに切り替えた時には、画面にデータは表示されません。データはデータログがオンになった時点から記録され始めるからです。

データログをリセット データログはいつでもリセットできます。

データログ：  On  Off  
データログ期間：  
2019/02/28 - 2019/04/29  
データ範囲は、補聴器からデータが記録された期間を表示します。

右  両耳  左  
右側、左側、両耳のデータ表示を選択します。

すべて 1 2 3 4  
特定のメモリーのデータを見る時にメモリー番号を選択します。

